

平成27年度事務事業評価シート(平成26年度実績)

事務事業コード	030601110	予算コード	06090480	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	一次予防事業(保健センター)			正規職員数	0.25	国庫支出金	267	有効性	介護一次予防事業は、「元気高齢者」を対象に、介護に頼らず、できるだけ長く家庭で自立した生活を送るだけでなく、社会への参画を促すために実施する事業で、生活機能が衰える前の段階でその術を普及し、実践してもらうことに意義がある。また、今後は、地域が自ら予防に取り組む仕組みを構築することを計画していくにあたり、ボランティアの養成にも注力する必要がある。	
担当課	保健センター			嘱託職員数	0	府支出金	133	B		
根拠法令等	法定受託事務			臨時職員数	0.5	市債		効率性		B
	■法律・政令・省令			歳出(千円)		その他	309	妥当性		A
	介護保健法第115条の38第2項			人件費総額	2,396	一般財源	2,756	受益者負担		該当なし
						減価償却費	0			
						事業費	1,069			
事務事業類型	運営事業	評価区分		フルコスト(千円)	3,465	緊急性			事務事業実施内容	
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	34	公的関与	B	介護予防普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気に体操 いちにいさん! 月1回実施</li> <li>・ロコモ度体力テスト 年間9回</li> <li>・ロコトレ教室 年間17回</li> </ul> 地域介護予防活動支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座(お達者教室)3回</li> </ul>	
対象				活動指標	H26実績	実施主体・委託化	B			
特定の市民	対象数	23,769人		普及啓発に関する講演会等実施回数	142.0	他の事務事業との関連	A			
65歳以上の高齢者(一次予防事業対象者)				ボランティア育成講座等実施回数	0.0	透明性	A			
事業の内容				成果指標	H26実績	財政健全化計画	該当なし			
①介護予防に関する知識の普及・啓発のための講演会等の実施。 ②地域における自主的な活動の育成支援のための事業の実施。 H22年度までは介護予防一般高齢者施策事業として行っていた事業で、H22年8月に介護保険法の改正により事業名称も介護予防一次予防事業と変更となったが、事業内容についてはほぼ変更なく以前の内容を継承して実施している。				普及啓発講演会等参加者延べ人数	1,976.0	財政健全化の取組	該当なし			
				ボランティア育成講座等参加者延べ人数	0.0	改革改善プラン達成度	該当なし			
				コスト指標	H26実績					
				参加者一人当たりのコスト	1,754.0					
事業の目的	地域において自主的な介護予防の取組に資する活動が広く実施され、高齢者が積極的にこれらの活動に参加し介護予防に向けた取り組みを実施する地域社会の構築を目的とする。									